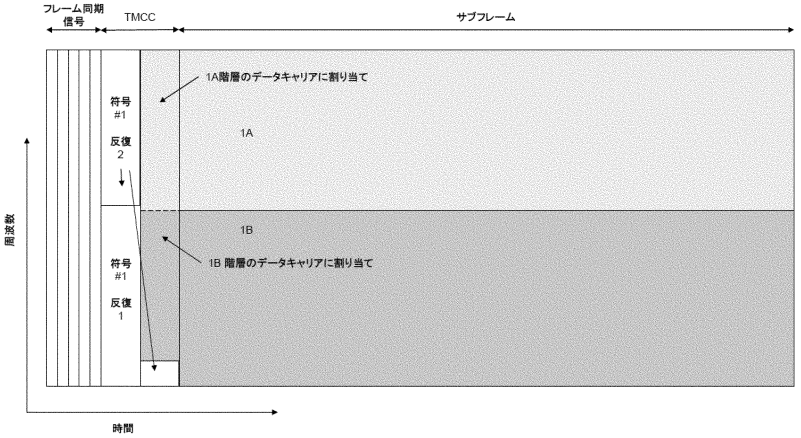
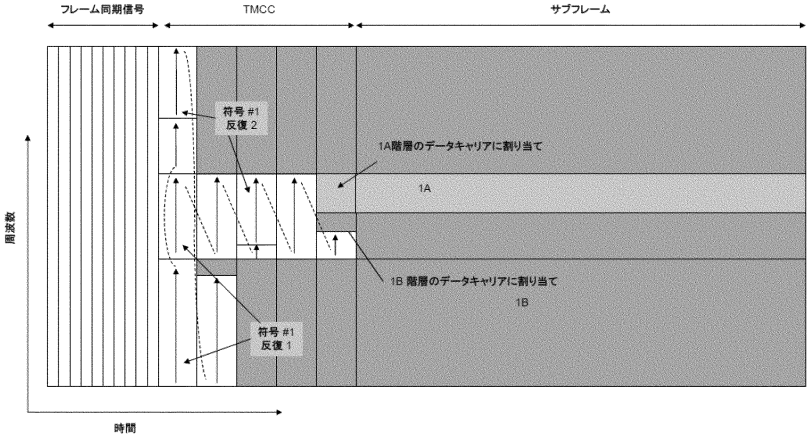
4　２の割当てを行う場合、残余のサブキャリアは下図に示すとおり、部分受信帯域及び非部分受信帯域それぞれにおいて、データキャリア数を上限として時間領域において先に配置するサブフレームの伝送耐性が強い階層から順に割り当てる。

(1)　部分受信帯域がない場合



(2)　部分受信帯域がある場合



注　図はTMCC区間における誤り訂正符号の反復回数が２である場合の割当て例を示す。フレーム同期信号により指定する反復回数を反復することとする。

5　２の割当てを行う場合、TMCC区間に割り当てたサブフレーム区間のデータキャリアにも位相回転及び周波数インターリーブを行うものとするが、別表第二十号の八注２に規定するレベル調整は行わないものとする。